

## V. 研究所図書館

### 1. 図書館活動

アジア経済研究所図書館（以下「研究所図書館」）は、開発途上地域の資料・情報センターとして開発途上国の経済、政治、社会などの各分野に関わる基礎的文献と最新の資料を広く収集・整理し、利用者に提供してきた。

2014年度は、特に、以下について重点的に取り組んだ。

#### （1）利用者サービスの強化

来館者数と利用冊数の増加、大学関係者の利用拡大をめざし、引き続き図書館共同利用制度の整備を図り、今年度は8大学図書館と「図書館共同利用制度」に関する協定を締結した。また、ウェブサイトによる情報提供サービスとして、研究所刊行物等のデジタルアーカイブへの登録を進め、累計で12,325本の論文がオンラインでの利用が可能となった。

#### （2）大学図書館等との図書館間協力

開発途上国研究の知識インフラを提供する図書館として、大学図書館等に対する目録データの提供と貸出サービスにおいて大きく貢献した。国立情報学研究所（NII）のオンライン総合目録データベースへの新規登録は、全参加1,263館中第15位、累計登録数は第10位であった。また、図書館間相互貸借の他機関への貸出冊数は全加盟1,584館中第4位と、引き続き全国トップクラスの実績であった。

#### （3）広報活動

資料の利用促進と研究所図書館の認知度向上のため、「図書館共同利用制度」協定の締結機関において、資料展・講演会を行った。一橋大学附属図書館及び東京外国語大学附属図書館では資料展と講演会を、千葉大学附属図書館では講演会を開催し、それぞれ高い評価を得た。

#### （4）第2期市場化テスト（実施期間：2012～2014年度）

「アジア経済研究所図書館運営業務官民競争入札」で落札者となった研究所図書館は、第1期に引き続き第2期の市場化テストにおいても図書館運営業務を行っている。最終年度にあたる今年度は、仕様書に従って円滑に業務を実施した結果、定められた数値目標を達成することができた。

#### （5）第3期市場化テスト（実施期間：2015～2016年度）

官民競争入札等監理委員会による評価を踏まえ、公共サービス改革基本方針（平成19年12月24日閣議決定、平成26年7月11日改定を閣議決定）では、2015年度から2年間に契約期間として民間競争入札を実施することとされた。これを受け、民間競争入札実施要綱に従い入札を実施し、委託業者を決定した。

## 2. 資料収集

研究所図書館は、研究所創立以来、開発途上国の政府刊行物、雑誌・新聞、海外の大学・研究機関の調査報告書、統計資料など現地の一次資料に留意して収集を行ってきた。特に、海外の主要な研究機関、政府機関等と研究所図書館との間で行われている出版物等の資料交換制度は、商業ルートでは入手し難い出版物の収集において重要な役割を果たしている。2014年度末の資料交換先は1,009機関（表V-1）である。

開発途上国の刊行資料については、各国の書店や政府機関から直接購入しているもの及び海外研究員や海外出張者の協力により現地で直接収集しているものがある。2014年度に後者の方法により資料収集を行った国は、タイ、フィリピン、インドネシア、ミャンマー、ラオス、カンボジア、スリランカ、イラン、トルコ、アラブ首長国連邦、コロンビア、ペルー及びブラジルの13カ国であった。

表 V-1 資料交換の相手機関（2014年度末）

地域	国際機関	政府	図書館	研究機関	大学	銀行	企業	各種団体・その他	計	
アジア	16	215	13	82	132	34	1	46	539	
内訳	東アジア	0	47	6	23	30	6	0	2	114
	東南アジア	9	101	4	10	26	12	0	7	169
	南アジア	0	58	1	27	14	10	1	1	112
	中央アジア	0	5	0	0	0	5	0	0	10
	日本	7	4	2	22	62	1	0	36	134
中東・北アフリカ	2	37	2	9	14	29	0	4	97	
ラテンアメリカ	7	53	0	9	25	37	0	15	146	
アフリカ	4	64	0	4	4	39	0	1	116	
オセアニア	1	10	1	1	8	2	0	1	24	
CIS・東欧	0	5	1	5	2	1	0	0	14	
北米	11	2	1	0	17	1	0	0	32	
西欧	21	0	1	11	7	1	0	0	41	
小計	62	386	19	121	209	144	1	67	1,009	

2014年度の資料の受入数、累計は表V-2のとおりである。

表 V-2 2014年度資料受入数及び蔵書数

資料種別	単位	前年度末計	2014年度受入			年度末合計
			購入	寄贈交換等	計	
洋書（アジア・アフリカ諸語を含む）	冊	291,812	2,164	3,928	6,092	297,904

和書	冊	93,821	337	1,034	1,371	95,192
中国書	冊	49,238	511	1,123	1,634	50,872
朝鮮・韓国書	冊	24,303	414	143	557	24,860
製本雑誌	冊	76,664	0	1,393	1,393	78,057
統計資料	冊	115,807	1,077	1,360	2,437	118,244
合 計	冊	651,645	4,503	8,981	13,484	665,129
新聞	タイトル	476	(新規継続) 2	2		478
雑誌	タイトル	3,706	(新規継続) 0	0		3,706
地図	枚	54,123		0	0	54,123
マイクロフィルム	本	87,429		153	153	87,582
マイクロフィッシュ	枚	48,406		0	0	48,406
ビデオテープ	本	446		0	0	446
電子記録媒体	枚	5,911		321	321	6,232

### 3. 資料整理・保存

#### (1) 目録

2014年度は合計 13,949 冊(点)の整理を実施した。その内訳は、和洋書 5,209 冊、中国語 1,203 冊、韓国語 388 冊、その他のアジア諸言語資料 934 冊(多い順にタイ語、アラビア語、トルコ語、インドネシア語、ベトナム語、ビルマ語、ラオ語、ペルシア語、タガログ語)、年刊資料 5,190 冊、マイクロフィルム/フィッシュ・CD-ROM 等は 1,025 点であった。

作成した目録データは、研究所の蔵書目録データベースへ登録すると同時に、国立情報学研究所(NII)のオンライン総合目録データベース(NACSIS-CAT)へも登録した。特に、NACSIS-CATへの新規目録登録数は 4,616 点で、全参加館(1,263 館)中、第 15 位(2013 年度第 8 位)であった。これは、研究所図書館の迅速な整理と、他機関にはない貴重な資料を多数所蔵していることを示すものである。

#### (2) 雑誌記事索引

2014 年度の雑誌記事索引採録件数は、表 V-3 に示すように 14,287 件(2013 年度実績: 16,060 件)であった。研究所図書館の新着資料について、受入図書リスト及び雑誌記事索引を毎月継続的にウェブサイト公開した。

表 V-3 2014 年度雑誌記事索引採録数

言語	英語	日本語	中国語	コア語	スペイン語	ポルトガル語	フランス語	ドイツ語	アラビア語	インドネシア語	マレー語	合計
採録件数	6,239	2,146	4,271	254	458	211	167	4	479	41	17	14,287

### (3) 資料の保存

新聞の長期保存と利用のため、新聞のマイクロフィルム化を行っている。2014年度はマイクロフィルム化の対象となっている16紙のうち6紙について業務委託を行い153リール作成した。

## 4. 利用者サービス

### (1) 閲覧

2014年度の研究所図書館の閲覧利用状況は、表V-4のとおりである。外部閲覧者数については、前年度と比べ341名増加した。蔵書貸出については、機構内の貸出冊数が、前年度と比べ1,172冊減少したことに対し、外部への貸出冊数は354冊増加した。郵送による資料複写枚数は、前年度から2,531枚増加した。

表 V-4 2014 年度閲覧利用状況

	2013年度	2014年度
①外部閲覧者数	5,159人	5,500人
うち土曜日分	497人	650人
②蔵書貸出冊数	9,237冊	8,419冊
うち内部	7,228冊	6,056冊
うち外部	2,009冊	2,363冊
③資料利用冊数	32,159冊	28,227冊
④資料複写枚数	114,953枚	96,283枚
うち郵送依頼分	6,458枚	8,989枚

また、研究所図書館見学は69件、861人（国内624人、国外237人）であった（2013年度は46件、372人）。

### (2) 利用者アンケートの実施

研究所図書館では毎年、外部利用者及び職員の満足度を調査し、利用者サービスの向上

のために役立てている。2014年度のアンケート結果は次のとおりであった。

①外部利用者アンケート（2014年11月1日～12月25日実施）

配布総数：349通、回収数：309通、回収率：88.5%

総合役立ち度（役立ち度上位2位の割合）：98.0%

②職員アンケート（2014年11月1日～2015年1月30日実施）

配布総数：191通、回収数：45通、回収率：23.6%

総合役立ち度（同上）：98.0%

### （3）研究支援

図書館間相互貸出サービスとして、職員からの依頼により、外部図書館から593冊の資料を借り受け、309件の論文等の複写取り寄せを行った。

また、研究所図書館の各種サービス及びデータベース利用方法に関する情報リテラシー研修会を全職員、研究所新入職員、IDEASの日本人研修生及び外国人研修生、客員研究員を対象としてそれぞれ実施した。

### （4）新着アラートサービス

新着アラートサービス（利用者に対して希望する特定地域・分野に関する新着図書・雑誌論文の書誌情報をEメールで無料配信するサービス）の今年度の登録者数は9人増で、2015年3月末現在の全登録者数は1,319人となった。

## 5. 資料・情報相談

開発途上国の経済、政治、社会などに関する具体的な事情または資料について各方面から寄せられる照会に対しては、所内の研究者の協力を得ながら主に資料整理課が回答を行っている。

2014年度の研究所全体の主な照会・相談件数は表V-5のとおりである。

表 V-5 2014年度主要照会・相談件数

対 象 主 題	地 域	開 発 途 上 国 全 般	ア ジ ア 全 般	東 ア ジ ア	東 南 ア ジ ア	南 ア ジ ア	中 央 ア ジ ア	中 東	ラ テ ン ア メ リ カ	ア フ リ カ	オ セ ア ニ ア	東 欧 ・ CIS	そ の 他	照 会 事 項 合 計
経済		2	5	16	68	5	1	0	47	18	0	0	0	162
政治		0	2	9	30	7	0	16	34	21	0	1	0	120
農林・漁業		1	1	3	14	0	0	1	7	6	0	0	0	33
社会		0	1	1	9	3	1	0	8	7	0	0	0	30
環境		0	3	8	13	0	0	0	1	0	0	0	0	25
貿易・通信・ 運輸		5	1	1	10	0	0	1	5	0	1	0	0	24

法律	2	5	1	11	1	0	2	1	0	0	0	0	23
工業・技術	2	2	2	7	2	0	2	2	0	0	0	0	19
資源・エネルギー	1	4	1	5	3	0	0	1	3	0	0	0	18
金融・投資	0	0	4	9	1	0	0	0	2	1	0	0	17
援助	6	1	0	1	4	1	2	0	2	0	0	0	17
労働	0	2	1	7	2	0	0	1	3	0	0	0	16
人口	2	0	0	7	0	0	1	0	1	0	0	0	11
企業	1	0	0	5	0	0	1	1	2	0	0	0	10
商業・流通・ サービス	1	1	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	8
教育	0	3	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	7
地理	0	0	0	2	1	0	0	2	2	0	0	0	7
財政	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
一般・その他	13	9	6	19	1	2	2	10	34	1	0	0	97
利用・蔵書案内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	209	209
合計	36	40	53	229	30	5	28	121	102	3	1	209	857

## 6. 資料展示会・講演会

図書館の利用拡大と途上国理解のための啓蒙活動を目的として、表V-6のとおり、資料展示会と講演会を実施した。

表 V-6 2014 年度資料展示会及び講演会開催一覧

開催月	内容	開催場所
2014年 6～7月	資料展「目で見えるブラジル—社会と人々」	研究所図書館
6月23日	講演会「障害当事者を開発のプレーヤーに」及び関連資料展示（参加者 35名）	一橋大学附属図書館時計台棟 コモンズ
10～11月	資料展「周縁から読む現代社会—アジア・アフリカの『マイノリティ』」	研究所図書館
11～12月	資料展「周縁から読む現代社会—アジア・アフリカの『マイノリティ』」及び講演会（参加者 70名）	東京外国語大学附属図書館／ 東京外国語大学アゴラ・グローバルホール
12月5日	講演会「ベトナムの経済発展を理解するための情報収集・整理」	千葉大学附属図書館 N 棟 1 階
2015年 1～2月	資料展「野中耕一氏追悼資料展」	研究所図書館

## 7. デジタルアーカイブ

AIDE（アジア経済研究所出版物アーカイブ）及び ARRIDE（学術研究リポジトリ）の登録数は、表 V-7 のとおりである。

表 V-7 2014 年度デジタルアーカイブ登録数

データベース	種 類	前年度末累計		2014 年度		累 計	
		冊 数	PDF 数	冊 数	PDF 数	冊 数	PDF 数
AIDE	図書	763	6,932	10	115	773	7,047
	雑誌	400	4,869	30	409	430	5,278
	合計	1,163	11,801	40	524	1,203	12,325
ARRIDE	論文	—	1,029	—	117	—	1,146

## 8. 図書館間協力

### (1) 図書館間相互貸借・複写

図書資料の利用促進を目的とした「図書館共同利用制度」は、協定締結機関が相互の構成員への個人貸出及び図書館間の相互貸借のサービス提供を行うものである。

2014年度は、神戸大学図書館、一橋大学経済研究所、東京大学経済学図書館、京都大学東南アジア研究所、千葉大学附属図書館、上智大学図書館、東京大学駒場図書館、放送大学附属図書館と同制度に関する協定を締結しサービス提供を開始した。同制度を利用した今年度の個人貸出冊数は454冊であった。

このほか、図書館間協力・交流の推進を目的として、専門図書館協議会、アジア情報関係機関懇談会（国立国会図書館主催）、千葉市図書館情報ネットワーク協議会、法律図書館連絡会の各種会合・研究集会・セミナー等に参加した。

また、国立情報学研究所 NACSIS-ILL システム、専門図書館協議会参加館間等の貸借を合わせた貸出受付点数は 1,229 冊、複写受付件数は 891 件となった。国立情報学研究所の統計情報によると、研究所図書館の NACSIS-ILL による他機関への図書の貸出冊数は 1,179 冊で、加盟している 1,584 館中第 4 位と貢献度が高かった（2013 年度は 1,564 館中第 6 位）。

### (2) レファレンス協同データベース

国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」に引き続き参加し、2014 年度はレファレンスデータを 75 件登録し、その貢献が評価され礼状を受けた。また、これまで提供したレファレンスデータが年間 89,624 件参照された(2013 年度の参照件数数 68,106 件)。

## 9. 資料・情報委員会

資料・情報委員会では、利用者動向分析分科会、ウェブ情報サービス検討分科会、アジア研ワールド・トレンド特集企画分科会の 3 分科会を設けて活動した。

### (1) 利用者動向分析分科会

各エリアや主題における資料収集、蔵書構築を、今後研究者や利用者のニーズにより対

応していくため、複数年に渡る貸出データや館内利用データ等を利用し、従来の利用統計では把握しきれなかった資料の利用傾向を分析し、今後取り組むべき課題を抽出した。

### **(2) ウェブ情報サービス検討分科会**

ウェブサイトを通じた情報サービスの提供方法・研究支援のあり方について検討し、図書館ウェブページを通じて図書館の活動や資料情報を今後より可視化するとともに、次期電子図書館システムに研究成果の一元的な管理機能を盛り込む方針をまとめた。

### **(3) アジ研ワールド・トレンド特集企画分科会**

『アジ研ワールド・トレンド』2015年4月号(No.234)に掲載した図書館特集「図書館と障害者サービス ー情報アクセシビリティの向上ー」の企画・立案及び執筆者の選定を行った。

## **10. 市場化テスト**

2011年度に実施された「アジア経済研究所図書館運営業務官民競争入札」では研究所図書館が落札し、第2回市場化テスト(2012年度～2014年度)においても、引き続き研究所図書館が自ら運営することになった。

最終年度にあたる2014年度は、業務実施において、数値目標(図書配架冊数12,000点以上、雑誌記事索引採録件数12,000件以上など)や納期(各種資料の配架までの日数、雑誌記事索引の採録から配架までの日数、ILLへの迅速な対応など)をほぼ達成し、順調に業務を実施することができた。